

事業分類		<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需		公的関与 6		作成日 30年 6月 21日			
事務事業名		子育て支援センター経費				シート作成部署			
総合計画上の位置付け	基本施策	2 人にやさしいまち				課名	子ども家庭課	係名	子ども支援係
		2-3 安心して子育てのできるまちをつくる					シート作成者		
	施策	2-3-1 子育て支援の充実				予算費目	会計	一般	
							款	3	
主要施策	④ 相談・援助体制の充実				項		2		
	⑤ 親育ちの支援						目	3	
個別計画名		東員町子ども子育て支援事業計画							
		東員町16年一貫教育プラン							
住民との関わり		特になし							
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）					
	未就園の幼児とその保護者			未就園の幼児とその保護者を対象に、保育園、幼稚園の場所を提供し、保護者とのコミュニケーションを持っていただくことにより住民の子育て支援を図る。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）								
月～金まで、「なかよし広場」を開催するとともに、月2回各園を開放するちびっこパークを実施する。また月2回各地区に出向いて行う「おでかけ広場」を実施し、未就園の幼児とその保護者を対象として受入れを図る。その中で、子育てに係る悩み相談や育児相談を行う。									
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 (年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等		児童福祉法							
		平成28年度（決算）		平成29年度（決算）		平成30年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B		3,260		5,278		5,278			
財源内訳	国庫支出金		0		0		0		
	県支出金		0		0		0		
	地方債		0		0		0		
	その他特定財源		0		0		0		
	一般財源		2,534		2,638		2,638		
直接事業費（千円）A		2,534		2,638		2,638			
人件費（千円）B		726		2,640		2,640			
内訳	一般職員（人・千円）		0.11 人	726	0.40 人	2,640	0.40 人	2,640	
	臨時職員（人・千円）		人	0	1.00 人	0	1.00 人	0	
成果指標	成果指標名			単位	28年度		29年度	30年度	
					目標	実績	(目標)	(目標)	
	①								
	②								
③									
説明	子育て支援を行う場であることから、具体的な成果指標は設定できない。								

事業名		子育て支援センター経費		シート作成課		子ども家庭課		
一次評価者		子ども家庭課長		二次評価者		福祉部長		
評価項目の説明	チェック項目			一次	二次	一次の評価又は説明		
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育てに対する不安は高まっており、就園前の親子が安心して遊べる環境を提供し、親子で向き合い、親同士のつながりが深められる場合は必要と考えます。	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	子育て中の親子の仲間づくりを促進し、子育ての悩みや育児不安等の解消につながると思います。	
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	広報、ホームページ等を活用し事業をPRすることで、住民へのより一層の周知を図り、更なる施設利用数の増加が期待できます。	
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	支援センターは駐車場のスペースが広いいため、参加者の多数は車での参加であり、対応が可能です。支援センターで事業を集中して行うことで効率的に運営が出来ます。	
本事務事業の実施適切性の説明								
町内の保育ニーズも高まっている中で、未就園のお子さんを子育て中の親子の交流促進や家庭での育児不安等の相談・助言等を行うために、子育て支援センター業務は必要な事業です。								
一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
今後の改革・改善目標	少子化や核家族化の進行、地域社会の変化など、子どもや子育てをめぐる環境の変化の中、家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応するため、子育て支援センターは、今後も継続が必要な事業と考えています。今後は教育委員会と連携してセンターの機能の拡大や、配置人員について検討が必要です。							
二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価		
		4	4	3	4	B	A	
	今後の方針	休・廃止		見直し	継続	拡大		
コメント	子育てのための「気軽に話し合える場・憩える場」として今後も継続していく必要があります。							
二次評価に対する課の考え方								
参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1 現在の手段を継続する				